

グリーン販売を強化し、グローバルな環境負荷削減に貢献します。

北欧をはじめとするEU諸国で、そして日本や北米で、グリーン購入の気運が高まを見せています。「環境保全に貢献している企業から、環境負荷の少ない製品を優先的に購入しよう」という動きは、各国の法制度などにも表れています。日本では、2001年4月に「グリーン購入法」が施行されました。カナダでは、製品の環境への積極的な取り組みが認められると、政府調達に当たっては価格面で最大10%の優遇策が実施されています。この施策は、民間の取引でも積極的に活用されています。

リコーグループは、環境負荷の少ない製品の開発・販売に積極的に取り組み、お客様の環境負荷削減、ひいてはグローバルな環境負荷削減に貢献して行きます。

また、各国の環境ラベルの基準制定などにも積極的に参画し、製品の環境情報開示のリーダーシップを担って行きます。

### タイプ 環境ラベル

ISO14024の基準に基づいて国や地域で制定しているラベルで、このマークを製品に付けることで、お客様は環境負荷の少ない製品であることが一目で判ります。日本のエコマークやドイツのブルーエンジェルマーク、北欧のノルディックスワンマーク、カナダのECP( Environmental Choice Program )マークなどが、これに該当します。リコーは、世界のタイプ 環境ラベルを取得することで、グローバルなグリーン販売を効率的に推進しています。また、エコマークのプリンター新基準など、より環境負荷削減効果の高い基準が制定されるよう、環境ラベルの基準制定にも積極的に貢献しています。

### タイプ 環境ラベル

各社が自主的に基準を定め、それをクリアした製品に付けるマークで、リコーグループでは「リサイクルラベル」を制定しています。リサイクル対応設計、部品の再使用率、環境安全性などに関する自社基準を定めたもので、Spirio 5000 RM、Spirio 7210 RMシリーズ、Spirio 8210 RM、Spirio 105 BBに加えて、2002年6月より、imagio MF6550 RC\*にこのラベルを付けて販売しています。 \* レンタル専用機

#### リコーリサイクルラベル基準(要約)

##### 新造機

- 1)リコーリサイクル対応設計基準を満たしていること。
- 2)再使用(リユース)部品\*を最大40%以上(質量比)使用して製造できる製品であること。
- 3)カートリッジを使用している製品は、カートリッジがリサイクル対応設計であり、さらにリサイクルシステムが確立していること。
- 4)使用済み製品の回収・処理システムが確立していること。また使用済みカートリッジおよび容器の回収システムが確立していること。
- 5)リコーのリサイクルシステムにおいて、製品の90%以上(質量比)が再資源化可能であること。
- 6)基準に定める環境安全性が配慮されていること。

\* 再使用(リユース)とは、回収した部品をそのままの形状で同じ目的に使用すること。  
再使用率=再使用部品の最大質量/対象製品の質量(%)

##### 再生機

- 1)再使用部品使用率が80%以上(質量比)であること。



#### リコーグループが対応している世界の環境ラベル \*はタイプ 環境ラベルです

##### エコマーク\*/日本

日本環境協会が実施している制度で、リコーは複写機とプリンターでこのマークを取得しています。2001年にはプリンターの新たな基準が制定され、リコーのプリンターIPSiOシリーズ18機種が、新基準によるエコマークを取得しました。



待機・使用時のエネルギーが少ない、部品を再使用・再資源化する、廃棄物が少ない複写機

imagio Neo 220/270シリーズのエコマーク表示例(認定番号 01117005)

##### ブルーエンジェルマーク(BAM)ドイツ

ドイツ連邦環境庁によって、製品の生産から廃棄まで細部にわたって認定基準が設けられています。複写機・プリンターだけでなく、2002年には、ファクシミリでも取得しました。



##### ECPマーク\*/カナダ

カナダが国として実施している制度で、民間企業であるTerra Choice Environmental Services Inc.が1995年より運営しています。政府の物品調達時に価格面で3%の優遇が適用されます。



##### ノルディックスワンマーク\*/北欧

1989年から、北欧5カ国(ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、アイスランド、デンマーク)が運営しています。1997年にリコーグループの複写機7機種がこのマークを取得しました。



##### 国際エネルギースターマーク/日本・アメリカ・欧州など

待機時の消費電力が一定基準以下のOA機器が、このマークを付けて販売できます。リコーグループは、すべての対象製品でこのマークを取得しています。



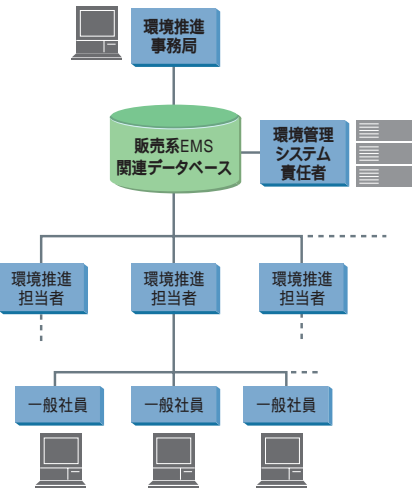
### タイプ 環境宣言

環境負荷の少ない製品をお選びいただきやすいよう、製品の定量的な環境負荷情報を開示しているのがタイプ 環境宣言です。リコーグループは、タイプ 環境宣言に基づいた製品のLCA\*情報をいち早く開示するとともに、よりタイムリーな情報開示を可能にするため、情報収集・開示システムそのものに対する認定取得を進めています。 \* 27ページを参照。

## 日本 極

**国内販売会社のISO14001認証取得**  
 リコーグループは2001年12月、全49社・410サイトの販売会社で一斉にISO14001を取得。約18,000名の環境意識の高い営業集団が誕生しました。環境負荷の少ない製品やサービス、さらには環境保全活動のノウハウを積極的にお客様に提供して行くことで、社会全体の環境負荷削減に貢献します。認証の取得にあたっては、全国レベルで情報の一元化を図るために、関連業務書類をすべて電子化し、約30万枚にもなる審査書類のペーパーレス化も実現しました。登録審査では日本初の電子審査を実施することにより、書類審査をわずか4日間で完了しました。

社内情報システムの管理・運用概念図



**販売会社のごみゼロ活動**

2000年度にごみゼロを達成した福井リコーに続き、2002年3月には岩手リコーがごみゼロを達成しました。「混ぜればごみ、分ければ資源」を合い言葉に、徹底したごみの分別とオフィスのペーパーレス化を推進し、ごみゼロレベルII\*を実現しました。

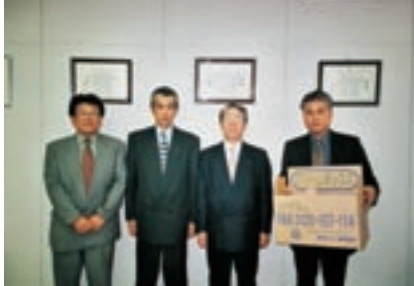
\* 39ページを参照。

**オフィスのショールーム化**

三重リコー、愛知リコー、神奈川リコーなどの販売会社では、グリーン販売を強化するために、「ライブオフィス」を設けました。ライブオフィスは、まず自社のオフィスのペーパーレス化を推進し、そこにお客様をご招待する新しいスタイルです。実際に稼動しているシステムをお客様にご覧いただくと共に、お客様がペーパーレス化を進めることによるコストダウンシミュレーションも行うようにしました。また、愛知リコーでは、お客様のオフィスに「グリーンボックス」を設置し、使用済み紙を回収・リサイクルする新たなサービスも開始しています。



三重リコーのライブオフィス



愛知リコーの環境スタッフとグリーンボックス

**プリンターのエコマーク取得**

2001年10月に、プリンターのエコマークの新基準が設定されました。旧基準が廃棄物削減のみを目的としているのに対し、新基準は資源の調達からリサイクルに至るライフサイクル全体に配慮しているため、より環境負荷削減に実質的な効果が高いものになっています。リコーは、この新たな基準策定に積極的に働きかけると共に、従来機種を含むIPSiOシリーズ18機種でエコマークを取得しました。



IPSiO Color 8150など18機種でエコマークを取得

**グリーンソリューション**

現在、多くの企業や団体で「環境経営」が新しい課題になっています。リコーは2002年1月から、お客様の環境負荷削減に役立つ製品やサービスを体系化した「グリーンソリューション」の展開を開始しました。省エネや省資源に役立つ製品の販売はもちろん、ISO14001の認証取得ノウハウ、工場のごみゼロ推進、使用済み製品のリサイクルシステムの構築など、環境保全活動から得られたノウハウやシステムの提供を通じて、お客様の新たな経営課題の解決をサポートして行きます。

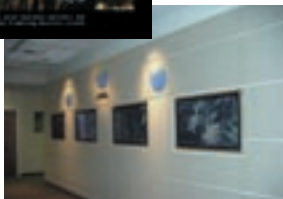
## 米州極

### 環境啓発とグリーン販売

より高い環境保全効果を生み出すには、社員への環境啓発だけでなく、お客様にも環境保全に参加いただく必要があります。米州の販売統括会社であるリコーコーポレーションでは、社員およびお客様に対して、環境保全プログラムや環境配慮型製品についての啓発を行い、より高いレベルの環境保全を目指したグリーン販売活動を展開しています。そのため「ツールの一つとして「Environmental Edge Kit」を開発し、ショールームおよびお客様先で、環境啓発やグリーン販売を促進しています。



Environmental Edge Kitの画面



リコーコーポレーションのショールーム内の環境ブース

## アメリカ

### NASA様、レニエ

レニエ(Lanier Worldwide, Inc.)は、2001年にリコーグループに新たに加わった販売会社です。大手のNASA(National Aeronautics and Space Administration:米国航空宇宙局)様の入札に際し、企業責任を説明することを求められ、リコーグループの革新的な技術開発や、IEA(International Energy Agency:国際エネルギー機関)やEPA(Environmental Protection Agency:米国環境保護庁)への積極的支援、社会啓発などに対して社会的に高い評価を受けていること

をアピールしました。この商談は最終的にレニエが勝ち取り、その成果は、米国のグリーン購入の成功事例として、EPAの複写機グリーン購入ガイドでも紹介されています。NASA様は、グリーン購入を推進するEPAに協力し、中央政府機関としての模範を他の省庁に示したことになりました。

## カナダ

### トロント教育委員会様、リコーカナダ

トロント教育委員会様は北米で3番目に大きい教育委員会です。リコーカナダは、約1,400台の大型商談を成功させました。使いやすさと大幅な省エネ効果を同時に実現した、新しいiAficioシリーズ(日本ではimaggio Neoシリーズとして販売)の環境性能や、リコーグループがどのように環境保全責任を果たしているかをアピールしました。トロント市民、職員、父兄、学生、そして社会一般に対し、率先してグリーン購入の模範を示し、教育委員会として社会責任を発揮できることが、購入決定の重要な決め手のひとつとなりました。



トロント教育委員会様とリコーカナダのスタッフ

## 欧州極

### 13の販売会社がISO14001認証取得

リコーフランス、リコーノルウェー、リコーポルトガル、リコースペイン、リコーポーランドの5社が2002年3月、ISO14001の最終審査で合格しました。これにより、欧州極ではリコーのすべての自社販売会社13社(上記5社

以外は、リコーヨーロッパ、リコーオーストリア、リコーベルギー、リコードイツ、リコーハンガリー、リコーイタリア、リコーオランダ、リコーUK)が、ISO14001を取得したことになります。環境意識の高いヨーロッパでも、ISO14001の認証を受けた販売会社は少ないため、より効果的なグリーン販売を展開して行くことができます。

### 環境データベースの構築

ヨーロッパ・中近東・アフリカ地区の販売統括会社であるリコーヨーロッパは、リコーグループでお客様対応に活用するための環境データベースを構築しました。2001年の6~8月の間の活用件数は、1,500件を超えています。これは環境に関するお客様からの問い合わせが増加したことによるもので、ヨーロッパ市場での環境への関心の高まりを示しています。現在では、欧州のいくつかの国の官公庁と大手企業では、環境保全への取り組みが、入札や販売のための基本条件のひとつとなっています。

## スウェーデン

### VOLVO様、STAKO様、

### カールラム様

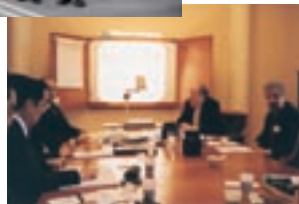
環境先進国スウェーデンでは、販売会社、お客様、政府機関の三者が一体になって高いハードルを設定し、環境保全を推進しています。メーカーだけでなく、販売会社もISO14001を取得していることが入札に参加する条件となっていることも、その一例と言えます。カールラム様は、スウェーデンの43の市で事業を行う、リコーブランドの販売会社で、環境負荷の少ない製品を販売するとともに、使用済みカードリッジの回収を呼びかけるなど、お客様への意識啓発にも力を入れています。一方、



カールラム様のお客である、トラックや建設機器などの製造を事業としているVOLVO様や、政府調達機関であるSTAKO (STATSKONTORET)様は、グリーン購入のための独自のガイドラインを用意し、このガイドラインをクリアすることが、入札に参加するための条件となっています。カールラム様とリコーグループは、これらのリストを高いレベルでクリアしているため、数多くの製品の販売に成功しています。



VOLVO様、カールラム様、リコーヨーロッパのスタッフ



STAKO様での環境保全に関する会議

## ドイツ

### コンチネンタル様、NRGドイツユラント

NRGドイツユラントは、ドイツにおけるリコーグループの販売会社です。販売会社でISO14001を取得しているところはヨーロッパでも少ないため、ドイツ司法省への200台以上の複写機の成約時には、ISO14001を取得しているということが大きく取り上げられました。また、世界第4位のタイヤメーカーであるコンチネンタル様への導入が決定したときも、ISO14001を取得していることが重要なポイントになりました。



コンチネンタル様、NRGドイツユラント、リコーヨーロッパのスタッフ

## オランダ

### NRGベネルクスの再生機販売

販売会社のNRGベネルクスでは、製品やトナーカートリッジの回収、および製品の再生\*・販売を行うとともに、サービス、生産、販売部門が一体となって市場のニーズに合った再生を行い、効率的な再生機販売を展開しています。新製品・再生機ともに販売は伸びています。

\* 53ページを参照。



スーパーマーケットのコピーコーナー用の再生機

## ハンガリー

### リコーハンガリーの販売促進活動

東欧のハンガリーでも、少しずつ環境意識が高まってきています。リコーハンガリーでは、2001年6月に「環境の友達(a friend of environment)」をキーワードに事業を展開していくことを決定しました。プレス発表は、ブダペスト動物園の温室前に記者を集めて行いました。秋から開始した環境キャンペーンでは、400箇所の看板、経済・ビジネス関連の新聞・雑誌への広告掲載、インターネット広告などを展開し、「なぜリコーが環境にやさしいのか、どのようなことをしているのか」をアピールしました。また、約15社のディーラー、約30社の販売店に対しても、リコーハンガリーと同様の顧客サービスが行えるようにサポートしています。お客様に対しては、使用済みコピー用紙の回収箱を設置したり、クリスマスプレゼントとして動物園のチケットやエコフレンドリーな素材で作った文具などを配付して、リコーグループの環境への取り組み姿勢をア

ピールしました。今では、「環境がOA機器の購買要因になりますか」という質問に、「イエス」と答えるお客様が増えています。



ブダペスト動物園の温室前でのプレス発表

## 中華極

### 香港

#### エネルギーラベルスキーム

香港で、アナログおよびデジタル複写機に関する環境ラベル「エネルギーラベルスキーム」が制定されました。リコー香港は、この基準の制定に貢献しました。このラベルは、お客様がよりエネルギー消費効率の良い製品を選べるよう、エネルギー消費に関する情報を提供するため、プリンターに関する同様のラベルも今後制定される予定です。

## アジア・パシフィック極

### ニュージーランド

#### リコーニュージーランド

環境をアピールすることにより、政府の環境部門への入札に成功し、23台を納入しました。この成功により、他の部門からも問い合わせが来ています。ニュージーランドでは環境に対する配慮が社会的な重要な課題になってきたため、リコーニュージーランドでは、環境は商売とより密接な関係を持つようになって考えています。